

なかよし情報210903:地球温暖化はウソ?

2021. 9. 3 教育文化研究所 長阿彌幹生 wrote.

暑い夏が南に去ろうとしています。山に行っても、蝉たちの声がめっきり減りました。秋の野草が可憐な花を咲き始めました。耳を澄ますと、遠くに秋の足音が聞こえてきます。皆様いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスが次々と変異して新しい感染を引き起こしています。まだまだ油断禁物ですね。このウイルスへの対応が収束するにはまだまだ時間がかかるのではないのでしょうか。このような時にこそ、みんなが助け合う“なかよし力”が試されるようにも思います。共に、頑張っ



★天拝山山麓に咲くミズヒキソウ(水引草)です。一つの花が2ミリ程度の小さな花。その蕾が細い茎に連なっている姿が水引に似ているのでこの名がついています。(9月2日撮影)



なかよし情報210903:地球温暖化はウソ?



ひと昔前、タバコと健康との関係は無い、喫煙は健康を害さないという考え方が世間を覆っていました。何十年もタバコを吸っているけど、健康そのものだという人たちの言動がそれを示しているというのが、その最大の根拠でした。タバコ産業は自分たちに都合の良い科学者に多額の研究資金を与えて、誤った情報をメディアを使って流し続けたのです。その結果、世界中で多くの命がタバコによって奪われました。

今やタバコを無害と言う人はそれほど多く無いと思われませんが、地球温暖化など気候変動については、いまだに温暖化など存在しない、地球の周期的変化に過ぎない等々の誤った情報が、特に石油メジャーや石炭産業などからの資金提供を受けた学者やメディア人、政治家が流し続けており、その言説を信じている人たちが相当数います。

例えば、トランプ前アメリカ大統領が演説の中でしばしば「温暖化は無い」と言って、気候変動に関する国際協定から離脱しました。その際にもそれを支持する人たちがかなりの数いたのです。

地球温暖化に関していうならば、すでに1960年代から一部の科学者が二酸化炭素などの温暖化ガスの大期中濃度の上昇に危惧を覚え、その研究からその危機について警鐘をならしていました。

それを石油や石炭に関わる企業や資本家たちが、自らの利益を守ろうと自分たちの都合の良いことを言う学者やメディア、政治家たちに多額の資金を提供して、反温暖化の論陣を張り続けたのです。その結果、世界各地で洪水や氾濫、山火事、氷河崩壊、河川や湖沼の枯渇、巨大台風の発生など、自然災害だけでなく、気温上昇や海面上昇が続くことによる土地の消失などの基本的な生活基盤が失われつつあります。

それもでなお「地球温暖化はウソ」と思っている人たちがいることも事実です。今回デンマークが制作した面白いドキュメンタリーが再放送されますので、詳しいことは是非その放送をご覧下さい。平日の昼間です。見れない場合は録画して観て頂ければと思います。その背景が分かりやすく、ドキュメントされています。★NHK・BS BS 世界のドキュメンタリー 9月6日(月)15:05-15:50放送 タイトル:地球温暖化はウソ?

日本では首相がコロナ対策の最前線に立つと言いながら、たった1年でその立場を放棄するという無責任なことがまかり通っています。しかし、地球温暖化や気候変動は未来を生きる子どもたち、その先に生まれる命にとっての大問題です。私たちの責任で、私たちが強力して、この事態を改善へと転換していく必要があるのではないのでしょうか。私たちは任期が来ましたので後はよろしくでは済まされないのです。私たちは生きていく限り、この問題に対して自分の出来ることを実行していかなければならないと思います。車の利用回数を減らす、電気の使用を減らす等々、地球温暖化に繋がる行為を減らし、止める方向で今すぐ出来ることから始めましょう。